



四小だより

令和6年9月2日号 No.8

いちよう

山形市立第四小学校

校長 樋口 潤一

<児童数 189 名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

2学期！子どもたちの笑顔が輝いています！

—めざす自分に向かって、自分を「育てる」日々を重ねよう！—

34日間という長い夏休みを過ごして、子どもたちは輝く笑顔でまた学校に集いました！

先週（8月29日）の2学期始業式は、キャプテンルーム（校長室）と各学級に設置された電子黒板とをつなぎ、Teams（ティームズ）という会議システムを使って行いました。熱中症防止対策という側面もありますが、今後、台風や地震等の災害に見舞われた際に、このシステムをいつでも使えるようにしておくことが、私たちの対応の選択肢を増やすことになるという目的で実施したものです。平時に、災害時を想定した備えをしておくという趣旨です。

3年生と6年生の代表児童が、「2学期に向けた決意」をお話してくれました。3年生の児童は、「いちよう体験学習で下学年のリーダーになりたい・いちよう音楽会のとき得意な高い声を2曲続けて出したい・みんなが笑顔になれるように誰にでも元気にあいさつをしたい」と力強く語ってくれました。6年生の代表児童は、「苦手な算数がもっと楽しくなるように、あきらめずチャレンジしたい・小学校生活最後となるいちよう音楽会のピアノ伴奏者として努力し、歌声や音を会場いっぱい響かせたい」と最高学年らしい決意を述べてくれました。

代表児童の決意も受けて、私は、自分で自分を「育てる」2学期にしようと話をしました。私たちは誰でも、家族や先生方、そして先輩方などたくさんの方から育ててもらってきた存在です。そのことへの感謝は忘れることなく、「自分で自分を『育てる』」心構えを常にもち続け、めざす自分に向かって努力を重ねていくことが大切だと考えています。なかなかうまくいかない、思うような結果がでない時も、誰かのせいにすることなく、「自分で自分を『育てる』」人間になってほしい、私自身もそうありたいと子どもたちに語りました。

7月末から、産休に入られた養護教諭の鈴木清花（すすき・さやか）先生の代替として、新たに本校にいらしてくださった小松朋佳（こまつ・ともか）先生も一緒に、私たち教職員も自分で自分を「育てる」日々を重ねていきます。2学期もお力添えをお願いいたします。



充実した2学期へ新たな一歩をふみだした子どもたち

